木を植えています
私たちはイオンです

ゴミ減量・リサイクル回収取組について

2017年3月24日
イオンリテール株式会社
中四国カンパニー
コミュニケーション部　広報G
前川　裕

イオンサステナビリティ基本方針と重点課題

方針

インサステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、多くのステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現を目指します。

取組みにあたっては、「低炭素社会の実現」、「生物多様性の保全」、「資源の有効利用」、「社会的課題への対応」を柱とし、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を積極的に推進してまいります。

2011年3月1日制定

重点課題

- 重点課題① 低炭素社会の実現
- 重点課題② 生物多様性の保全
- 重点課題③ 資源の有効利用
- 重点課題④ 社会的課題への対応

取組視点

- 店舗で
- 商品で
- お客さまと共に

イオンが目指す夢のある未来～イオンサステナビリティ基本方針～

CO_2を減らそう
低炭素社会の実現

イオンのecoプロジェクト
2012年より開始
2020年度に向けたエネルギー方針

へらそう作戦　つくろう作戦　まもろう作戦

太陽光パネル
2004年より開始
全国1,354店舗(2016年2月末現在)
創電能力 合計75,861kW

スマートイオン
2013年より開始
地域と協働して、
エネルギーの効率的な
利用や防災対応を行う
次世代の店舗

LED照明
全国1,550店舗の基本照明、
スポットライトを
順次LED照明に変更
(2016年2月末現在)

大大

自然の恵みを守ろう
生物多様性の保全

FSC®認証
2008年より開始
適切に管理された森から
生産された木材や紙

MSC認証
2006年より開始
持続可能な漁業で獲られた
水産物(天然魚)

ASC認証
2014年より開始
責任ある養殖により生産
された水産物(養殖魚)

植樹活動
・「イオン ふるさとの森づくり」
・「(公財)イオン環境財団」による植樹
・東日本大震災被災地での植樹

1991年より開始
お客さまとともに1,117万本植樹
(2016年2月末現在)

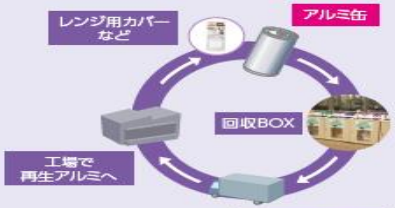
トップバリュ グリーンアイ
1993年より開始
健康と自然環境に配慮した
安全・安心ブランド

イオン チアーズクラブ
1996年より開始
子どもたちに環境学習や体験の場を提供
約440クラブ、約7,900人の
子どもたちが参加(2016年2月末現在)

小学生の田んぼ活動
2008年より開始
お米づくりを通じて自然の恵みや
食の大切さを学ぶ

買物袋持参運動
1991年より開始
レジ袋削減枚数
27億947万枚(2015年度実績)

店頭資源回収
1991年より開始
紙パックや食品トレイなどの
回収ボックスを設置



2015年度実績(連結子会社中の25社の合計)

紙パック 約1億6,105万本	食品トレイ 約4億4,606万枚
アルミ缶 約3億385万本	ペットボトル 約1億5,075万本

資源を大切に使おう
資源の有効利用

ご当地WAON
2007年より開始
ご当地WAONカードの
売り上げの一部を地域の活性化に
累計で約6億6,528万円を寄付
(2016年2月末現在)

東北応援
「にぎわい東北 ―つなげよう、ふるさとのチカラ」
「地域(ふるさと)の創生」に向けた取り組み
・植樹本数14万6,279本(2016年2月末現在)
・ボランティア参加従業員数19万6,728人
(2016年2月末現在)
・寄付総額(物資含む)約57億8,750万円
うち、お客さまからお寄せいただいた募金額 約15億円

イオン 幸せの黄色い レシートキャンペーン
2001年より開始
累計で約27億8,421万円相当の
品物を贈呈(2016年2月末現在)

フェアトレード
2004年より開始
お買物を通じて途上国の生産者の
自立を支援

FAIRTRADE COCOA PROGRAM

よりよい社会をつくろう
社会的課題への対応

イオン サステナビリティ基本方針

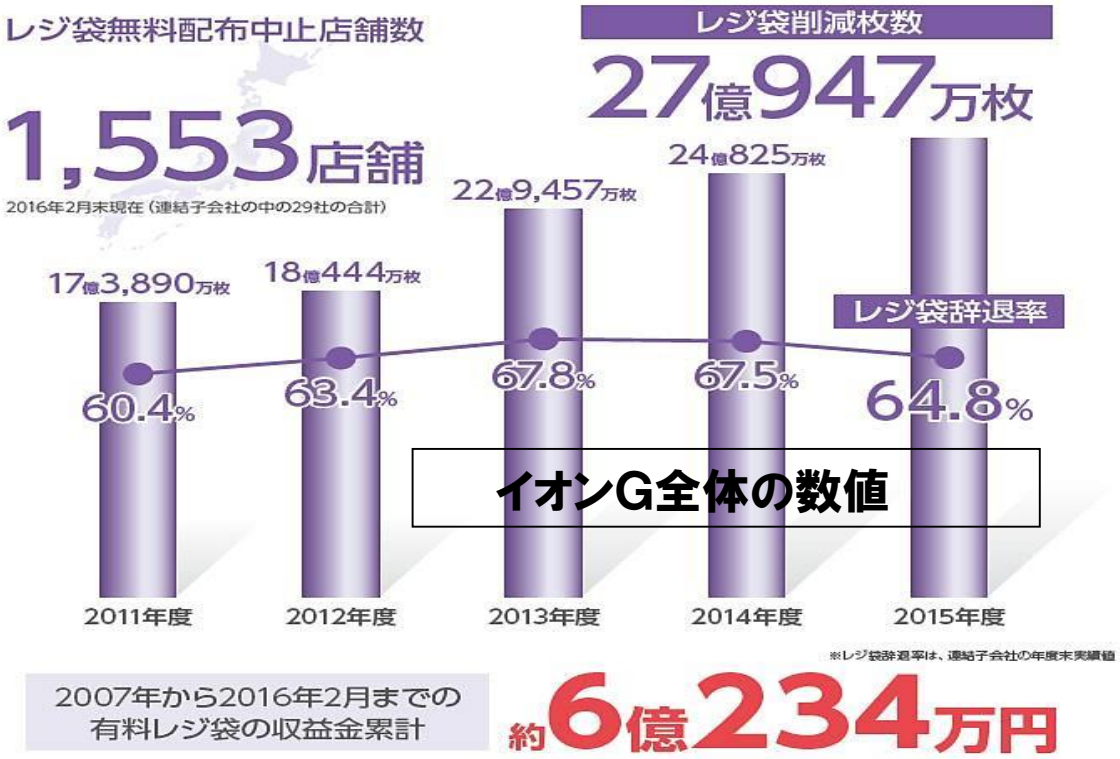
資源の有効利用

～資源を節約するために～

店舗での取り組み

レジ袋削減の取り組み

～1991年から買物袋持参運動を開始～
2013年11月1日からは全国のGMSイオンで食品フロアにおける
レジ袋無料配布中止を開始



・レジ袋をご希望のお客さまには植物由来素材（バイオマス）のレジ袋を有料で提供

・レジ袋の収益金を自治体などを通じて地域の環境保全活動に全額寄付

店頭リサイクル回収

紙パックや食品トレイ、アルミ缶やペットボトルを店頭で回収して、資源の循環に役立てています。

2015年度実績(連結子会社の中の25社の合計)

イオンG全体の数値

紙パック
約1億6,105万本
回収量 4,831t
CO₂削減量 2,416t-CO₂

食品トレイ
約4億4,606万枚
回収量 3,122t
CO₂削減量 19,671t-CO₂

ペットボトル
約1億5,075万本
回収量 9,497t
CO₂削減量 34,191t-CO₂

店頭リサイクル回収

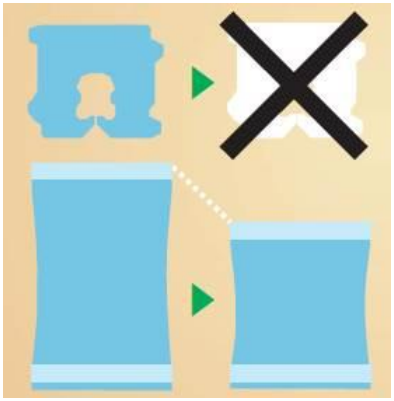
WAONと連動した古紙回収

資源回収にご協力いただいたお客さまにWAONポイントを付与する資源回収（古紙）を行っています。

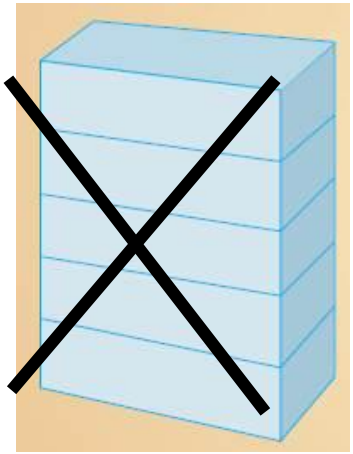
商品での取り組み

包装資材の削減

石油資源の節約やごみになるものを減らすために



留め具をなくし、
袋を短くすることで、
包装資材の重量を一般品の半分に削減



外箱を省いている

食品廃棄物の削減・有効利用

主な取り組み

■発生抑制

廃棄売変率（廃棄売変額／売上額）の削減

イオンリテール（株）：

ISO14001の全社目標として取組む

■再生利用の推進

廃棄物の分別の徹底によるリサイクルの推進

・廃食油・魚アラのリサイクル委託推進
（廃食油は100％リサイクル）

・生ごみのリサイクル業者への委託推進
→肥料、飼料、油、油脂製品など

■リサイクルループの構築

食品廃棄物の削減・有効利用

食品リサイクルループの推進
店舗の食品残さを堆肥に、そして直営農場で使用

イオン・ダイエー
マックスバリュ店舗等

約1,580 t/年（残さ回収量）
⇒　順次増量
※イオングループ対象店舗及び
　ＰＢ製造工場合計

食品
残渣

大栄環境㈱

約316 t/年（堆肥生産量）
⇒　順次増量

堆肥

イオンアグリ創造㈱
三木里脇農場

トップバリュ
農産物

食品廃棄物の削減・有効利用

フードバンク活動

「フードバンク関西」・「あいあいねっと」への協賛

イオン サステナビリティ基本方針

社会的課題への対応

～地域社会、国際社会の一員としての責任を果たすために～

次世代育成～地域で
イオン チアーズクラブ

■子どもたちがイオンのお店の周りで、環境について考えるクラブ。
■子どもたちが環境に興味を持ち、考える力を育てることを目指す。

ソーラークッキングの実験

全国大会で学習成果を発表

にんにくの収穫を体験

屋久島で生物多様性研修を実施

全国で約440クラブ、約7,900人の子どもたちが活動に参加（2016年2月現在）。

イオンG全体の数値

イオン チアーズクラブ店外活動

10月は「3R月間」！資源を大切にする心を育みます。

リサイクル工場見学ツアー（エフピコ福山工場）

店舗での事前学習

リサイクル工場での事前説明

リサイクル工程の見学

次の活動日での内容まとめ作業

次世代育成～世界で
ペットボトルキャップ回収キャンペーン

■店頭回収したペットボトルキャップを売却した代金を、
発展途上国の子どもの支援に役立てる取り組み。

■3つの団体を通じた、ミャンマー、ベトナムの
子どもたちの「命」、「健康」、「教育」に関する貢献。

■お客さまが身近で参加できる社会貢献活動でお客さまからも高い評価。

【2015年度実績】3億7,546万個（2015年3月1日～2016年2月29日回収分）

●3つの国際支援団体

Save the Children JAPAN

公益社団法人
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

PLAN INTERNATIONAL

公益財団法人
プラン・インターナショナル・ジャパン

世界の子どもにワクチンを JCV

認定NPO法人
世界の子どもにワクチンを 日本委員会

イオンG全体の数値

AEON